

雑 報

定例研究報告会の開催

(昭和63年7月～9月)

| <回><年月日> | <報 告 題 名> | <報告者> |
|---------------|--------------------------|--|
| 10 昭63. 7. 6 | 人口の地域性に関する研究—消費生活を中心として— | 内野 澄子技官 |
| 11 昭63. 7. 20 | 親子の居住関係と移動 | 廣嶋 清志技官 坂東里江子技官 |
| 12 昭63. 8. 31 | 第9次出産力調査(独身者調査)の結果の概要 | 阿藤 誠技官 中野 英子技官 大谷 憲司技官 金子 隆一技官 三田 房美技官 |
| 13 昭63. 9. 28 | 1980年代前半の結婚出生力の動向 | 伊藤 達也技官 坂東里江子技官 |

なお、定例研究報告会における所内研究員の報告とは別に、次のような外部専門家による特別講義が行われている。

昭63. 7. 8 最近のアメリカにおける人口学の事情について……………Yong J.Kim教授

資 料 の 刊 行

(昭和63年7月～9月)

| <資料題名(発行年月日)> | <担当者> |
|-------------------------|--------|
| ○「研究資料」第256号(昭63.7.20) | |
| 都道府県別純移動率 昭和25～60年…………… | 石川 晃技官 |

第48回人口問題審議会総会

人口問題審議会(厚生省)の第48回総会が昭和63年7月13日(水)中央合同庁舎第5号館共用第9会議室において開催された。今回の会議においては、昭和62年1月の第46回総会において設置された「人口と家族に関する特別委員会」(福武直委員長)がとりまとめた「人口と家族に関する特別委員会報告」が福武委員長ならびに阿藤誠専門委員より報告され、討議の後、総会で承認された。本報告書はその後本審議会の関係各大臣に提出された。また本報告書は、近日中に人口問題審議会、厚生省大臣官房政策課、人口問題研究所共編「日本の人口・日本の家族」(東洋経済新報社)として公刊の予定である。参考までに以下に報告書の内容目次を記す。

| | |
|------------------|-------------------|
| 総 論 人口と家族 | 第4章 夫婦関係の変化と要因 |
| 第1章 結婚パターンの変化と要因 | 第5章 世代間関係の変化と要因 |
| 第2章 子供数の変化と要因 | 第6章 地域社会と家族 |
| 第3章 子育て環境の変化と要因 | 附 論 欧米諸国における家族の変化 |

(阿藤 誠記)